

い つまでもお元気で 小川市長が高齢者宅を訪問

9月7日、敬老の日を前に、小川市長が男性で市内最高齢者となる中根敏さん宅などを訪問しました。今年で104歳を迎えた中根さんは「お腹も壊したことがないほど内臓が丈夫」と、市長に話しました。市内で今年度100歳を迎える方と100歳以上の方は、8月1日現在で合わせて201人です。これからもぜひ、お元気で過ごしてください。



学 びの場の充実のために 日立ライオンズクラブが学用品を寄贈

9月1日、日立ライオンズクラブが小学校の特別支援学級に学用品を寄贈しました。同クラブは、特別支援学級の児童を支援する活動を昭和40年から行っており、今年は小学校の特別支援学級の児童全員に「じゆうちょう」600冊を、日立総合病院小児科病棟内にある「すぎの子教室」に図書23冊を寄贈しました。同クラブの谷田部悟会長から目録を受け取った小川市長は「児童たちもがんばろうという気持ちになるとと思います」と感謝しました。



日 立市の新たなビッグイベント シーサイドマラソン実行委員会を設立

9月5日、ひたちシーサイドマラソン実行委員会の設立総会が、市内ホテルで開かれました。ひたちシーサイドマラソンは、海岸沿いをコースにした日立市初のフルマラソンで、来年11月17日の開催を目指しています。コースは、池の川さくらアリーナをスタートし、国道6号バイパスを往復するなど、美しい海の景色を楽しめます。総会では小川市長があいさつし「スポーツから得られる活力を生かして、まちの活性化につなげていきたい」と述べました。



日 立総合病院とひたち医療センターが 市の救急隊用にディスポグローブを寄贈

9月9日の「救急の日」に合わせ、日立総合病院とひたち医療センターが、市に救急隊用ディスポグローブを寄贈しました。両病院は、救急現場において感染防止などに役立ててもらいたいと、毎年、市に救急隊用ディスポグローブを寄贈しています。救急隊用ディスポグローブは、救急隊員が患者を搬送する際に感染症から身を守るための使い捨ての手袋で、今回、両病院から合わせて2万枚が寄贈されました。



創

業の地に迅速な支援を 日立製作所が市に支援物資を寄贈

9月29日、日立製作所からポータブル蓄電池23台や折り畳み式ソーラーパネル46枚などを寄贈いただきました。市役所に訪れた徳永副社長は「日立製作所にとって、日立市は創業の地であり特別な場所。今回の台風災害に対し、東原会長や小島社長を始め、社内でも迅速な支援をという思いがあった」と小川市長に伝えました。小川市長は「日立グループ社員の皆様方による災害ボランティア参加など、復旧に多くのご支援をいただき大変ありがたい。寄贈品は小学校単位にあるコミュニティ組織にお配りするなど有効に活用したい」と、心強いご寄附への感謝を述べました。



今

後の活躍に注目 市内小学生2人が陸上の県大会で優勝

9月1日、日清食品カップ第39回全国小学生陸上競技交流大会の県大会で優勝を果たした日立陸上クラブの山形俊輔さんと横田希心さん、クラブ代表の中嶋威重さんが、市役所を訪問しました。山形さんと横田さんの2人は、走り幅跳びとジャベリックボール投げの総合記録を競うコンバインドBの種目で、それぞれ優勝を果たしました。今後の2人の活躍に注目です。

ラ

ジオ体操の普及に貢献 市内の団体・個人が優良団体等表彰を受賞

かんぽ生命保険などが主催する「ラジオ体操優良団体等表彰」において、日立市からは、府県等表彰の団体として塙山学区コミュニティクラブ、個人として日高学区市民自治会の志賀勝弘会長が選ばれ、9月26日に市役所で授与式が行われました。塙山学区は夏の期間を中心に地域住民が一同に会しラジオ体操に取り組んでいることが、志賀会長は日立市ラジオ体操普及協議会の設立に携わったほか、日高学区で毎日欠かさずラジオ体操に取り組んでいることが、評価されました。



女

子軟式野球チームに所属する市内中学生 全国の舞台で躍動

8月に開かれた全日本中学女子軟式野球大会に出場した市内の生徒が、9月26日、市役所を訪れました。大久保中3年の雨堤花帆さんと上條結衣さん、滑川中1年の飯泉虹夏さんは、女子中高生の軟式野球チーム「茨城 Super Girls」に所属。チーム初出場となる全国大会でベスト16という好成績を収めました。野球がとても好きだという3人は、折笠教育長に大会の様子やチームの雰囲気の良いなどを報告しました。

